令和8年度　上尾市立太平中学校
シラバス（学習案内）

1　シラバスについて

シラバスは「学習案内」のことです。学習の進め方や評価の仕方について、「この教科の学習では、自分は何をどのように頑張ればよいのか」を考える参考にしてください。一人一人が、何をどのように学ぶのかを考え、自分の夢の実現のために一生懸命に努力する学校を、一緒に創りましょう。

2　評価の観点について

評価は「知識・技能」「思考力、判断力、表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で行います。

観点	説明	評価
知識・技能	各教科等で学んだ知識や技能をどれだけ習得しているか。	A○・A・B・C○・C
思考力、判断力、表現力	各教科で学んだ知識や技能を使って課題を解決する力がどれだけあるか。	A○・A・B・C○・C
主体的に学習に取り組む態度	知識・技能を習得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けて粘り強く取組をしているか。 粘り強い取組をしている中で、自ら学習状況を調整しようとしているか。	A○・A・B・C○・C

※教科ごとの具体的な目標は、次ページ以降に記載します。

3　評価の基準（目標に対する到達度）

評価	基準
A○	十分に満足できるもののうち特に程度の高いもの
A	十分に満足できるもの
B	おおむね満足できるもの
C○	努力を要するもの
C	一層の努力を要するもの

※評価に係る観点や基準等について、変更がある場合には、授業等でお知らせします。

4　評定と観点の組合せ

評定	組合せ				
5	A○A○A○	A○A○A			
4	A○A○B	A○AA	A○A○C○	A○AB	AAA
	A○A○C	A○AC○	A○BB	AAB	
3	A○AC	A○BC○	AAC○	ABB	A○BC
	A○C○C○	AAC	ABC○	BBB	A○C○C
	ABC	AC○C○	BBC○		
2	AC○C	BBC	BC○C○	A○CC	ACC
	BC○C	C○C○C○	BCC	C○C○C	
1	C○CC	CCC			

【国語科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1） 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

（2） 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

（3） 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	• 漢字テストや単元テスト（文法や古典の知識）の点数 • 定期テスト（漢字や古典や文法）の点数
思考・判断・表現	• 聞き取りテスト・暗唱テストの点数 • 発表や対話・討論に関わる課題への取り組みの内容 • 定期テスト・課題作文の記述の点数 • ノートに記録している意見文や感想文の記述 • 定期テストの思考を問う問題の点数
主体的に学習に取り組む態度	• 授業中の作成したノートに自分のためになるような表現や工夫をしている。 • 授業中に主体的に活動する姿（発言や問題への取組、周りとの相談する姿、教員への質問等）がある。 • 学習評価カードを熱心に記入し、学習内容の定着を図ろうとしたり修正しようとしたりしている。

3　学習の計画と学習目標

単元（題材） 内容、項目、 事項	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度
		A　話すこと・聞くこと	B　書くこと	C　読むこと	
朝のリレー 言葉と出会うために 野原はうたう ・声を届ける ・書き留める ・言葉を調べる ・続けてみよう	・音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。（(1)ア） →速さ，声の強弱，間の取り方，言葉の調子，声の高さを工夫しながら音読している。 →情景や心情を表す表現に応じて，音読のしかたを工夫している。 ・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） →線や矢印で情報を整理している。 ・読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。（(3)オ） →これまでに読んだ本などを基に，印象に残った言葉を書き留めている。		・「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） →日常生活やこれまでに読んだ本の中から題材を決め，情報を整理して「言葉の手帳」に書き込んでいる。		・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。 ・進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。
1 学びをひらく	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語			・「読むこと」において，場面の展開や登	・場面の展開について、描写

はじまりの風	句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。			場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。（C(1)イ） →場面ごとに会話や描写を整理して，登場人物の心情や関係の変化を捉えている。	を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。
情報を聞き取り、要点を伝える	・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） →5W1Hに注意して，キーワードとなる言葉を書き留め，番号や記号を用いて整理している。	・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) →日常の話題について，情報を整理し，聞き取る内容を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において，必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え，共通点や相違点などを踏まえて，自分の考えをまとめている。(A(1)エ) →情報を的確に聞き取り，要点を押さえてメモしている。			・進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。
季節のしおり 春	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →春に関わる言葉にふれ，それぞれの春の情景を想像している。				・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
情報整理のレッスン	・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） →情報の整理のしかたを理解し，情報を比較したり，分類したりしている。				・学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。
情報を整理して説明しよう	・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） →集めた情報を，観点に沿って比較したり，共通点を見つけて分類したりして整理している。		・「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） →目的や相手を意識して，情報を集めて整理し，説明の文章の構成を考えている。		・集めた情報を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。
漢字１　漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう１	・小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。（(1)イ）				・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

	→漢字の組み立てと部首について理解し，漢和辞典を使って調べている。				
2　新しい視点へ ダイコンは大きな根?	・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。((2)イ) →本文中で比較がどのように使われているかを理解している。			・「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。(C(1)ア) ・→「問い」と「答え」から中心的な部分を捉え，筆者の主張を理解している。	・文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝えあおうとしている。
ちょっと立ち止まって	・原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) →筆者の主張と事例との関係を理解している。			・「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。(C(1)ア) →序論・本論・結論の段落のまとまりに着目し，要旨を捉えている。	・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。
硬筆【書写】	・楷書に調和する仮名の書き方を意欲的に確かめている。				・楷書に調和する仮名の書き方を理解している。
思考のレッスン 意見と根拠	・原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) →説得力のある根拠や，意見と根拠の結び付きについて理解している。				・学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。
話の構成を工夫しよう	・音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。((1)ア) →声の大きさ，話す速さ，間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	・「話すこと・聞くこと」において，目的や場面に応じて，日常生活の中から話題を決め，集めた材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) →聞き手を意識して話題を決め，話の内容を選んで整理している。 ・「話すこと・聞くこと」において，自分の考えや根拠が明確になるように，話の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などに注意して，話の構成を考えている。(A(1)イ) →聞き手を想定し，伝えたいことが明確になるように，構成を考え，話す順番を工夫している。			・話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。
漢字に親しもう2	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。((1)イ)		・		・
文法への扉1	・単語の類別について理解				・単語の類別を理

言葉のまとまりを考えよう	している。（(1)エ） →文法の必要性を知り，言葉の単位とその働きについて理解している。				解するために，今までの学習を生かして，積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。
情報を集めよう／情報を読み取ろう／情報を引用しよう	・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） →グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し，引用のしかたや出典の示し方を理解している。		・「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） →調べたいテーマについて，本やインターネットを活用して情報を集め，整理し，伝えたいことを明らかにして書いている。	・「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約し，内容を解釈している。（C(1)ウ） →必要な情報に着目して要約し，内容を理解している。	・引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め，学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
3　言葉に立ち止まる 空の詩　三編	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →詩の中の語句の意味を捉えながら，語感を磨き，語彙を豊かにしている。 ・比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。（(1)オ） →表現の技法を理解し，表現を工夫して詩を書いている。		・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →自分の思いが読み手に伝わるように，言葉や表現を工夫して詩を書いている。	・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。（C(1)エ） →詩に描かれている情景を想像し，表現の効果を考えている。	・文章の構成や展開，表現の効果について積極的に考え，学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。
比喩で広がる言葉の世界	・比喩などの表現の技法を理解し使っている。（(1)オ） ・→文中で使われている比喩の文脈上の意味を理解している。			・「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。（C(1)ア） →各段落の役割を理解し，要旨を捉えている。	・進んで要旨を把握し，学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。
言葉１　指示する語句と接続する語句	・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。（(1)エ） →指示する語句と接続する語句の役割を理解している。				・今までの学習を生かして，積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。
言葉を集めよう	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →言葉を集め，似た意味の言葉や修飾する言葉を考え，伝えたいことに合う的確な言葉を探している。				・今までの学習を生かして，積極的に事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，話や文章の中で使おうとしている。
いつも本はそばに 読書を楽しむ	・読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。（(3)オ） →さまざまな読書の楽しみ方について理解し，読書が				・読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し，

	知識を得たり，新しいものの見方や考え方を知ったり，自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。				今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。
本の中の中学生 本の世界を広げよう 本との出会い	・ 読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) →読書が，知識を得たり，新しいものの見方や考え方を知ったり，自分の考えを広げたりすることに役立っていることを理解している。			・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) →文章を読み，理解したことを基に，自分の考えを形成している。	・ 文章を読んで理解したことに基づいて，積極的に自分の考えを確かなものにし，学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。
季節のしおり 夏	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) →夏に関わる言葉にふれ，それぞれの夏の情景を想像している。				・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
4 心の動き 大人になれなかった弟たちに……	・ 読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) →戦時中という時代背景や，その中で暮らす人々の生活苦を理解している。			・ 「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。(C(1)イ) →描写に着目して，登場人物の行動や心情の変化を捉えている。	・ 登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に積極的に捉え，学習の見通しをもって朗読しようとしている。
星の花が降るころに	・ 比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解している。((1)オ) →様子や動きを何かにたとえた表現を探し，どのような情景や気持ちをたとえているのか考えている。			・ 「読むこと」において，場面と場面，場面と描写などを結び付けたりして，内容を解釈している。(C(1)ウ) →場面ごとの状況や，場面と人物などの描写を結び付けて，内容を読み深めている。	・ 進んで場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈し，学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。
聞き上手になろう	・ 音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。((1)ア) →話す速度や音量，言葉の調子や間の取り方などに注意しながらスピーチをしている。	・「話すこと・聞くこと」において，必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え，共通点や相違点などを踏まえて，自分の考えをまとめている。(A(1)エ) →話し手のスピーチに耳を傾け，聞いたことを基に，質問のしかたを工夫して聞き，対話をしながら話を十分に理解しようとしている。			・ 進んで記録したり質問したりしながら，話の内容を捉え，今までの学習を生かして話を引き出そうとしている。
項目を立てて書こう	・ 比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め，それらを使っている。((2)イ) →情報を項目ごとに整理することを理解し，案内文の作成に生かしている。		・「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) →伝えたい事柄・相手に応じて，必要な情報が明確に伝わるように，項目ごとに		・ 集めた材料を積極的に整理し，学習課題に沿って案内文を書こうとしている。

			整理して案内文を書いている。		
読み手の立場に立つ	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →正確でわかりやすい表現に書き改めている。		・「書くこと」において，読み手の立場に立って，表記や語句の用法，叙述のしかたなどを確かめて，文章を整えている。（B(1)エ） →読み手の立場に立って，誤記はないか，表現は適切か，伝える情報が正確にわかりやすく書けているかなどを検討している。		・粘り強く文章を整え，学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。
言葉２　方言と共通語	・共通語と方言の果たす役割について理解している。（(3)ウ） →共通語と方言の役割や特徴について理解している。				・今までの学習を生かして，積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。
漢字２　漢字の音訓	・小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。（(1)イ） →漢字の音・訓について理解し，熟語を正しく読んだり，同じ熟語の音・訓の読み方を使って短い文を作ったりしている。		・		・学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
５ 筋道を立てて 「言葉」を持つ鳥，シジュウカラ	・原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） →筆者がどのような事実を基にどのような仮説を立てたかについて，理解している。			・「読むこと」において，文章の構成や展開について，根拠を明確にして考えている。（C(1)エ） →筆者の意見と，それを支える根拠との関係を考えている。	・文章の構成や展開について粘り強く考え，学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。
思考のレッスン２	・原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） →原因と結果がどうつながっているか整理し，二つの関係について理解している。				・今までの学習を生かして，積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。
根拠を明確にして書こう	・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。（(2)イ） →情報を整理し，自分の考えを裏づける資料やデータを選び，出典の示し方に気をつけながら引用している。		・「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。（B(1)イ） →自分の考えに説得力をもたせるようなレポートの構成を考えている。 ・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。（B(1)ウ） →自分の考えを裏づける資料やデータを選び，アンケートで得られた情報を	・	・文章の構成や展開を粘り強く考え，学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。

			適切に関連づけて，考察を導き出している。		
漢字に親しもう３	・小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。（(1)イ） →小学校で学習した漢字を使って文章を作り，中学校で学習する漢字の読み方について理解している。				・学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
話し合いの展開を捉える	・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） →「上達のポイント」にある「根拠を述べる」「前の人の意見を受けて話す」「自分の意見と比較しながら聞く」「意見を整理する」「話がそれたときは元の話題に戻す」を理解している。	・「話すこと・聞くこと」において，話題や展開を捉えながら話し合い，互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) →話題や展開を捉えながら話し合うために気をつけることを理解し，課題に沿って発言内容を考えている。			・進んで話題の展開を捉え，学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。
話題や展開を捉えて話し合おう	・意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア） →自分の考えをまとめる際に，意見に対する根拠を考えている。	・「話すこと・聞くこと」において，話題や展開を捉えながら話し合い，互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(A(1)オ) →話し合いの話題や展開を捉え，互いの発言を結び付けながら考えをまとめている。			・積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ，学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。
聴きひたる大阿蘇	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →詩の言葉がどのように使われているか考えて，朗読をしている。		・	・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。（C(1)エ） →繰り返しの表現や繰り返しながら変化している表現などに着目しながら考えている。	・進んで表現の効果について考え，今までの学習を生かして朗読しようとしている。
季節のしおり秋	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →秋に関わる言葉にふれ，それぞれの秋の情景を想像している。				・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
６いにしえの心に 触れる 音読を楽しむ いろは歌 古典の世界	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，古文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しんでいる。（(3)ア） →言葉の調子や間の取り方などを意識して音読している。 ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。（(3)イ）				・古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り，今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。

	→小学校から親しんできた古典の作品を思い起こし，古典にはさまざまな種類の作品があることを理解している。				
蓬莱の玉の枝――「竹取物語」から	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，古文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しんでいる。((3)ア) →音読に必要な文語のきまり，古文特有のリズムについて理解し，その世界に親しんでいる。	・	・	・「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。(C(1)イ) →「蓬莱の玉の枝」に登場する人々の関係や思いに着目して読み，現代の自分たちと比べ，古典の世界と現代の人々に共通する部分を考えている。	・進んで古文を音読し，学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。
今に生きる言葉	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り，漢文を音読し，古典特有のリズムを通して，古典の世界に親しんでいる。((3)ア) →音読に必要な文語のきまり，漢文特有のリズムや言い回しなどについて理解している。		・「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ) →「矛盾」と自分の体験とを重ねて，書く内容の中心が明確になるように文章の展開や構成を考えている。	・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) →「矛盾」や，「推敲」「蛇足」「四面楚歌」の基になった故事を調べ，どんな意味に使われるようになったか説明している。	・積極的に漢文を音読し，今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。
7価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す	・原因と結果，意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) →意見と根拠の関係に着目して，必要な情報を取り出し，整理している。 ・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。((2)イ) →要約するための情報の整理のしかたを理解し，自分の考えをまとめるときに要約や引用を明確に示している。		・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →立場を明確にして，自分の考えの根拠となる事例を挙げながら，意見をまとめて書いている。	・「読むこと」において，目的に応じて必要な情報に着目して要約し，内容を解釈している。(C(1)ウ) →目的に沿って必要な情報を結び付け，要約している。 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) →賛成か反対か，立場を明確にして，筆者の主張に対する自分の考えをまとめている。	・積極的に必要な情報に着目して要約し，自分の考えを文章にまとめようとしている。
助言を自分の文章に生かそう	・読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) →書評を書き，助言し合う活動を通して，読書の意義を理解している。		・「書くこと」において，根拠の明確さなどについて，読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ) →読み手からの助言を踏まえて，自分の書いた書評のよい点や改善点を見つけている。		・読み手からの助言などを踏まえ，自分の文章のよい点や改善点を進んで見いだし，学習課題に沿って書評を書き，助言し合おうとしている。
漢字に親しもう4	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。				・学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

	（(1)イ） →小学校で学習した漢字を使って文章を作り，中学校で学習する漢字の読み方について理解している。				
文法への扉２ 言葉の関係を考えよう	・単語の類別について理解している。 （(1)エ） →「文節どうしの関係」「連文節」「文の組み立て」について，理解を深めている。				・単語の類別を理解するために，今までの学習を生かして，積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。
書き初め【書写】	・一字ずつの大きさや配列、筆脈を意欲的に確かめている。				・一字ずつの大きさや配列、筆脈を理解している。
いつも本はそばに 研究の現場にようこそ 本の世界を広げよう	・読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。（(3)オ） →読書の意義（＝読書が知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つこと）を理解している。			「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。（C(1)オ） →筆者のものの見方や考え方が表れている部分に線を引き，考えたことをグループで発表し合う活動を通して，自分の理解を確かなものにしている。	・読書が，知識や情報を得たり，自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し，今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
季節のしおり 冬	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →冬に関わる言葉にふれ，それぞれの冬の情景を想像している。				・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして，積極的に語感を磨き，言語文化を大切にしようとしている。
７自分を見つめる 少年の日の思い出	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目している。		・「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。（B(1)イ） →別の人物を選び，その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。	・「読むこと」において，文章の構成や展開，表現の効果について，根拠を明確にして考えている。（C(1)エ） →時間・場所・出来事・語り手に着目して作品の構成や展開を捉えたり，具体的な表現を挙げてその効果について自分の考えをまとめたりしている。 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。（C(1)オ） →登場人物の考え方や感じ方について，自分の考えをもっている。	・文章の構成や展開，表現の効果について積極的に考え，学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。
漢字に親しもう５	・小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や				・学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

	文章の中で使っている。（(1)イ） ・→小学校で学習した漢字を使って文章を作り，中学校で学習する漢字の読み方について理解している。				
文法への扉３ 単語の性質を見つけよう	・単語の類別について理解している。(1)エ） →「単語の分類」「品詞」「体言と用言」について，理解を深めている。				・今までの学習を生かして，積極的に単語の類別について理解しようとしている。
二十歳になった日	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →思いや考えが伝わるようどのように表現されているかを理解している。			・「読むこと」において，場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈している。(C(1)ウ） →場面の展開や描写に着目しながら，筆者の思いを捉えている。	・進んで場面と場面，場面と描写などを結び付けて，内容を解釈し，今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
構成や描写を工夫して書こう	・事象や行為，心情を表す語句の量を増すとともに，語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。（(1)ウ） →体験や思いを伝えるために，情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。		・「書くこと」において，書く内容の中心が明確になるように，段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(B(1)イ） →読み手に状況がイメージできるように，書く内容の中心が伝わるように，構成を工夫している。 ・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ） →書きだしや結び，出来事を，言葉を吟味し，描写を工夫して書いている。		・粘り強く文章の構成や展開を考え，学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。
言葉３さまざまな表現技法	・比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ） →比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解している。				・積極的に比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し，学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。
漢字３　漢字の成り立ち 漢字に親しもう６	・】小学校学習指導要領第２章第１節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また，学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。（(1)イ） →漢字の成り立ちについて理解し，漢和辞典を使って調べている。				・学習課題に沿って，積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
一年間の学びを振り返ろう	・音声の働きや仕組みについて，理解を深めている。（(1)ア） →声の大きさ，話す速さ，間の取り方などに注意しながら発表をしている。 ・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し	・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応を踏まえながら，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ） →聞き手や場に応じ	・「書くこと」において，目的や意図に応じて，日常生活の中から題材を決め，集めた材料を整理し，伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） →「観点」に見合った		・集めた材料を積極的に整理し，今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ，発表しようとしている。

	方について理解を深め，それらを使っている。((2)イ) →情報の整理のしかたを理解し，要点をわかりやすくフリップにまとめている。	て，発表の言葉や表現を変えるなどの工夫をしている。	情報を集め整理し，内容が伝わる端的な言葉をフリップに書いている。		
ぼくが　ここに	・比喩，反復，倒置，体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。((1)オ) →詩に用いられている表現の技法を理解し使っている。			・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) →詩の解釈を通して理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。	・文章を読んで理解したことに基づいて，積極的に自分の考えを確かなものにし，考えたことを伝え合おうとしている。
学習を振り返ろう	・比較や分類，関係づけなどの情報の整理のしかた，引用のしかたや出典の示し方について理解を深め，それらを使っている。((2)イ) →曲名と歌の一節を引用する方法を理解している。 ・共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ) →課題にある方言の例を読み，共通語と方言の果たす役割について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において，相手の反応を踏まえながら，自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) →話すときは，聞き手の反応を踏まえて，伝えたいことが伝わるように表現を工夫している。	・「書くこと」において，根拠を明確にしながら，自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ) →卒業式で歌ったり聞いたりしたい歌について，自分の思いや考えを繰り返すだけでなく，根拠となる事例を挙げて文章を書いている。	・「読むこと」において，文章の中心的な部分と付加的な部分，事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え，要旨を把握している。(C(1)ア) →温暖化による流氷の減少が，環境に与える影響について，網走気象台の観測記録からわかった事実を二つに分けて書いている。 ・「読むこと」において，文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えを確かなものにしている。(C(1)オ) →「……という警告。」で終わる形になるように，筆者の示した情報と自分の考えを結び付けて書いている。	・今までの学習を生かして，それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。
	・評価方法	評価方法	評価方法	・評価方法	・評価方法
	課題テスト・作品の点検など	グループ活動の観察・メモの取り方・発表、音読（個人、群読）の評価	課題テスト、作文、レポートなどの評価・点検	課題テスト、読み取りワークシートの点検など	生徒観察・挙手や発言・自己評価カードの点検など

【社会科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，現代社会を形成する公民としての資質・能力の基礎を育成する。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	①授業中の挙手、発言、ノートの記述・課題等　②ミニテスト　③定期テスト
思考・判断・表現	①授業中の発言②単元のまとめ・レポート課題　③定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	①授業中の挙手、発言、ノートの記述・課題等　②単元のまとめ・レポート課題　③その他提出物

3　学習の計画と学習目標

章	単元等	時数	知識･技能	思考･判断･表現	主体的に学習に取り組む態度
第１章	世界の姿	7	○緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基に，世界の地域構成を大観し理解している。	世界の地域構成の特色を，大陸と海洋の分布や主な国の位置，緯度や経度などに着目して多面的･多角的に考察し，表 現している。	世界の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第２章	日本の姿	7	○日本の国土の位置，世界各地との時差，領域の範囲や変化とその特色などを基に，日本の地域構成を大観し理解している。	日本の地域構成の特色を，周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的･多角的に考察し，表現している。	日本の地域構成について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第１章	人々の生活と環境	10	○人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を，その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的･多角的に考察し表現している。	世界各地の人々の生活と環境について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第２章	①アジア州	8	○アジア州に暮らす人々の生活を基に，各州の地域的特色を大観し理解している。	アジア州において，地域で見られる地球的課題の要因や影響を，州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色と関連付けて多面的･多角的に考察し，表現している。	アジア州について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

	②ヨーロッパ州	6	○ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に，各州の地域的特色を大観し理解している。	ヨーロッパ州において，地域で見られる地球的課題の要因や影響を，州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。	ヨーロッパ州について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	③アフリカ州	4	○アフリカ州に暮らす人々の生活を基に，各州の地域的特色を大観し理解している。	アフリカ州において，地域で見られる地球的課題の要因や影響を，州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。	アフリカ州について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	④北アメリカ州	6	○北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に，各州の地域的特色を大観し理解している。	北アメリカ州において，地域で見られる地球的課題の要因や影響を，州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。	北アメリカ州について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	⑤南アメリカ州	4	○南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に，各州の地域的特色を大観し理解している。	南アメリカ州において，地域で見られる地球的課題の要因や影響を，州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。	南アメリカ州について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
	⑥オセアニア州	5	○オセアニア州に暮らす人々の生活を基に，各州の地域的特色を大観し理解している。(アジアとの関わり)	オセアニア州において，地域で見られる地球的課題の要因や影響を，州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現している。	オセアニア州について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

第1章	歴史へのとびら ①見方・考え方 ②身近な地域の歴史	10	○資料から歴史に関わる情報を読みとったり，年表などにまとめたりする技能を身に付けている。 ○具体的な事柄との関わりの中で，地域の歴史について調べたり，収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。	○比較や関連，時代的な背景や地域的な環境，歴史と私たちとのつながりなどに着目して，地域に残る文化財や諸資料を活用して，身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し，表現している。	○自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、身近な地域の歴史について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
第2章	①世界の古代文明と宗教のおこり	6	○世界の古代文明や宗教のおこりを基に，世界の各地で文明が築かれたことを理解している。	古代文明や宗教が起こった場所や環境，農耕の広まりや生産技術の発展に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，世界の古代文明や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察し，表現している。	世界の古代文明や宗教など、人類が様々なものを生み出していったことについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	②日本列島の誕生と大陸との交流	5	○日本列島における農耕の広まりと，生活の変化や当時の人々の信仰，大和政権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に，東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。	農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、日本列島における国家形成について、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	日本列島における国家形成について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	③古代国家の歩みと東アジア世界	11	○聖徳太子らの政治や大化の改新、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら律令国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。	東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の政治の変化や、古代の文化と東アジアとを関連付けながら、どのように律令国家が成立したかを多面的・多角的に考察し、表現している。	古代の政治の変化、古代の文化と東アジアとの関わりからどのように律令国家が成立したのかについて、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

第3章	①武士の政権と成立	7	○鎌倉幕府の成立などを基に，武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し，その支配が広まったことを理解している。	武士の政治への進出と展開などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，武家政治の成立について，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。	武家政治の成立について、武士が社会を動かすほどの力をもつことになった理由とそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
	②ユーラシアの動きと武士の政治の展開	9	○元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ○農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。	武士の政治への進出と展開，東アジアにおける交流，農業や商工業の発達などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，武家政治の成立とユーラシアの交流，武家政治の展開と東アジアの動き，民衆の成長と新たな文化の形成について，中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現している。	ユーラシアの交流、武家政治の展開と東アジアの動き、民衆の成長と新たな文化の形成について、民衆がどのように力を持つようになったか、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

【数学科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	• 毎単元で実施する小テスト（知識や計算技能について）の点数 • 定期テスト（知識や計算技能について）の点数
思考・判断・表現	• 授業中に作成したノートに自分なりの表現や工夫が見られる。 • 振り返りシートや授業のまとめに、その授業で学んだことにせまる記述（既習単元や他単元、他問題との関連性など）の記述がある。 • 定期テストの思考を問う問題の点数
主体的に学習に取り組む態度	• 授業中に作成したノートやまとめに自分のためになるような表現や工夫をしようとしている。(振り返りシート、ノート等) • 授業中に学んだ知識や技能、考え方を身に付けようと工夫して学習している。(授業の受け方、ノート、ワーク等) • テスト勉強（ワーク等）において、間違いから次にできるようになるための工夫が見られる。(提出物等) • 一度できなかった問題をそのままにせず、理解することに努めている（再テストの点数等)。 • 授業中に主体的に活動する姿（発言や問題への取組、周りとの相談する姿、教員への質問等）がある。

3　学習の計画と学習目標

単元（題材） 内容、項目、事項	**知識・技能**	**思考・判断・表現**	**主体的に学習に取り組む態度**
1章　正の数・負の数 1節　正の数・負の数 2節　正の数・負の数の計算 3節　正の数・負の数の利用	・正負の数の必要性と意味を具体的な場面と結び付けて理解している。 ・正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解している。 ・正負の数の四則計算をすることができる。 ・具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。・自然数，素数，素因数分解の意味を理解している。 ・素因数分解の一意性を理解し，自然数を素因数分解することができる。	・算数で学習した数の四則計算と関連づけて，正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 ・数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。 ・正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。 ・自然数をいくつかの数の積で表すことにより，整数の性質を見いだし表現することができる。	・正負の数の必要性と意味を考えようとしている。 ・正負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・正負の数を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 ・自然数をいくつかの数の積で表すことにより，整数の性質を見いだそうとしている。

２章　文字の式 **1節　文字を使った式** **2節　文字式の計算** **3節　文字式の利用**	・文字を用いることの必要性と意味を理解している。 ・文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。 ・文字を用いた式の文字に数を代入して，その式の値を求めることができる。 ・簡単な 1 次式の計算をすることができる。 ・数量の関係や法則などを，文字を用いた式に表すことができることを理解している。 ・数量の関係や法則などを，文字を用いた式を用いて表したり，読み取ったりすることができる。	・具体的な場面と関連づけて，1 次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 ・文字を用いた式を活用して，具体的な事象を考察し表現することができる。	・文字を用いることの必要性と意味を考えようとしている。 ・文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
３章　方程式 **1節　方程式** **2節　方程式の利用**	・方程式の必要性と意味を理解している。 ・方程式の解や等式の性質，移項の意味を理解している。 ・等式の性質の意味を理解し，等式の性質を用いて方程式を解くことができる。 ・移項の考えを用いて方程式を解くことができる。 ・簡単な 1 次方程式，比例式を解くことができる。 ・事象の中の数量やその関係に着目し，1 次方程式をつくることができる。 ・１次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの，解の吟味の意味と必要性を理解している。	・等式の性質をもとにして，1 次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ・方程式において，移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。 ・具体的な場面の問題において，1 次方程式を活用し，問題を解決することができる。 ・具体的な場面の問題において，解を吟味して解答としてよいことを判断することができる。	・方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ・正負の数や文字を使った式で学んだことを生かして，方程式を効率的に解く方法を検討している。 ・方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・方程式を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
４章　変化と対応 **1 節　関数** **2 節　比例** **3 節　反比例** **4 節　比例，反比例の利用**	**・関数関係の意味を理解している。** **・比例、反比例について理解している。** **・比例、反比例を表、式、グラフなどに表すことができる。**	・比例，反比例として捉えられる 2 つの数量について，表，式，グラフなどを用いて調べ，それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 ・比例，反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	・関数関係の意味や比例，反比例について考えようとしている。 ・比例，反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・比例，反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
５章　平面図形 **1 節　直線と図形** **2 節　移動と作図** **3 節　移動と作図の利用** **4 節　円とおうぎ形**	・平行移動，対称移動及び回転移動について理解している。 ・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。 ・角の二等分線，線分の垂直二等分線，垂線などの基本的な作図の方法を理解している。 ・おうぎ形の弧の長さと面積を求めることができる。	・図形の移動に着目し，2 つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。 ・線対称な図形の性質をもとにして，基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 ・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。	・平面図形の性質や関係を捉えることの必要性と意味を考えようとしている。 ・平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・図形の移動や基本的な作図を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。

６章　空間図形 **1節　立体と空間図形** **2節　立体の体積と表面積** **3節　空間図形の利用**	・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・立体図形の展開図や投影図について理解している。 ・柱体や錐体，球の表面積と体積を求めることができる。	・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。 ・空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。 ・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。	・空間図形の性質や関係を捉えることの必要性や意味を考えようとしている。 ・空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。
７章　データの活用 **1節　ヒストグラムと相対度数** **2節　データにもとづく確率**	・ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解している。 ・累積度数，累積相対度数の必要性と意味を理解している。 ・代表値や範囲の必要性と意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。	・目的に応じてデータを収集して分析し，そのデータの分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することができる。 ・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして，不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	・ヒストグラムや相対度数の必要性や意味を考えようとしている。 ・ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・ヒストグラムや相対度数を活用した問題解決の過程を振り返って検討したり，多面的に捉え考えようとしたりしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性や意味を考えようとしている。 ・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。

【理科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な知識及び技能、科学的に探究する力、自然の事物・現象に進んで関わり科学的に探究しようとする態度を育てる。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	• 定期テスト（知識や技能について）の点数。 • 課題テスト（知識や技能について）の点数。 • 実験において、実験器具を正しく利用できている。
思考・判断・表現	• 授業中に作成したノートやプリント、レポートに自分なりの表現や工夫が見られる。 • 実験の考察や授業のまとめ、発言や話し合いでの内容に、その授業や実験で学んだことにせまる記述（既習事項や他単元、他問題との関連性など）がある。 • 定期テストの思考を問う問題の点数。 • 課題テストの思考を問う問題の点数。
主体的に学習に取り組む態度	• 授業中に作成したノートやプリント、レポートに自分なりの表現や工夫が見られる。 • テスト勉強（ワーク等）において、間違いから次にできるようになるまでの工夫が見られる。 • 授業中に主体的に活動する姿（発言や問題・実験への取組、周りと相談する姿、教員への質問等）がある。

3　学習の計画と学習目標

単元（題材） 内容、項目、事項	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
１　いろいろな生物とその共通点	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら，生物の観察と分類の仕方，生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身につけている。	身近な生物についての観察，実験などを通して，いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに，生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
１章　生物の観察と分類	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察、生物の特徴と分類の仕方についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	生物の観察と分類の仕方についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	生物の観察と分類の仕方に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
２章　植物の体の共通点と相違点	いろいろな植物の共通点と相違点に着目しながら、植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	植物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、いろいろな植物の共通点や相違点から植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	植物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

３章　動物の体の共通点と相違点	いろいろな動物の共通点と相違点に着目しながら、動物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	動物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな動物の共通点や相違点を見いだすとともに、いろいろな動物の共通点や相違点から動物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	動物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
２　身のまわりの物質	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につけている。	身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。	身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
１章　さまざまな物質とその見分け方	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質の固有の性質と共通の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、それらを科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	身のまわりの物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の固有の性質と共通の性質などにおける規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	身のまわりの物質とその性質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
２章　気体の性質	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら，気体の性質や気体の種類による特性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，それらを科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	気体の発生とその性質について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，気体の性質や気体の種類による特性などにおける規則性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	気体の発生とその性質に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
３章　水溶液の性質	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら，水溶液についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	水溶液について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質や溶解における規則性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	水溶液に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
４章　物質の状態変化	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら，状態変化と熱，物質の融点と沸点についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	状態変化について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	状態変化に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
３　光・音・力	身近な物理現象を日常生活や社会と関連づけながら，光と音，力のはたらきを理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身につけている。	身近な物理現象について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，光の反射や屈折，凸レンズのはたらき，音の性質，力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現している。	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
１章　光の性質	光に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら，光の反射や屈折，凸レンズのはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	光について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，光の反射や屈折，凸レンズのはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	光に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

２章　音の性質	音に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら，音の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	音について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，音の性質の関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	音に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
３章　力のはたらき	力のはたらきに関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら，力のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力のはたらきについて，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，力のはたらきの規則性や関係性を見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	力のはたらきに関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
４　大地の成り立ちと変化	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，身近な地形や地層，岩石の観察，地層の重なりと過去の様子，火山と地震，自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身につけている。	大地の成り立ちと変化について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地層の重なり方や広がり方の規則性，地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
序章　身近にある地形・地層・岩石を観察しよう	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，身近な地形や地層，岩石の観察についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	身近な地形や地層，岩石の観察について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	身近な地形や地層，岩石の観察に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
１章 大地の歴史と地層	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，地層の重なりと過去の様子についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	地層の重なりと過去の様子について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地層の重なり方や広がり方の規則性などを見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	地層の重なりと過去の様子に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
２章 火山活動と火成岩	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，火山活動と火成岩についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	火山について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	火山に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。
３章 地震と大地の変化	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，地震の伝わり方と地球内部のはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	地震について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，地震の揺れの大きさや伝わり方の規則性などを見いだして表現しているなど，科学的に探究している。	地震に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

４章 大地の躍動と恵み	大地の成り立ちと変化を地表に見られるさまざまな事物・現象と関連づけながら，自然の恵みと火山災害・地震災害についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	自然の恵みと火山災害･地震災害について，問題を見いだし見通しをもって観察，実験などを行い，火山活動や地震発生の仕組みとの関係性などを見いだして表現しているなど，科学的に探究して いる。	自然の恵みと火山災害・地震災害に関する事物・現象に進んで関わり，見通しをもったり振り返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。

【音楽科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

音楽活動を通して、音楽を愛好する心情を育み、音楽に対する感性を豊かにするとともに、音楽理論や歴史などの知識、音楽を形作っている要素を聴き取る力を養い、豊かな表現力と鑑賞の能力を育成する。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	• 定期テストの点数 • 実技テストの点数 • ワークシートの記述
思考・判断・表現	• 定期テストの点数 • 実技テストの点数 • 鑑賞文等の記述、
主体的に学習に取り組む態度	• 授業中への関心・意欲・態度 • 課題に取り組む姿勢 • 振り返りシート

3　学習の計画と学習目標

単元（題材） 内容、項目、事項	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○オリエンテーション ○楽しく歌おう 「太平中学校校歌」 「大切なもの」 「夢の世界を」	［知］曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ［技］創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	［思］音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	［態］曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
○イメージと音楽との関わりを感じ取ろう 「Let’s Create！」 「映画 ジョーズのテーマ」他	［知］音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ［技］創育工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	［思］音色、リズム、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	［態］音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
○情景を思い浮かべて聴こう 「春　～第1楽章～」	［知］曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	［思］音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	［態］曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
○日本の歌の良さや美しさを感じ取って歌おう。 「浜辺の歌」	［知］曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ［技］創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	［思］リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	［態］曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
○合唱を楽しもう （合唱祭に向けての取り組み） 「合唱祭　全校合唱曲」 「合唱祭　学年合唱曲」 「合唱祭　クラス合唱曲」	［知］曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ［技］創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	［思］音色、速度、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	［態］曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
○物語を歌で表現する魅力を味わおう。 「魔王」	［知］曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	［思］音色、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評	［態］曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

		価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	
○日本の歌の良さや美しさを感じ取って歌おう。 「赤とんぼ」	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
◯アルトリコーダーを楽しもう 「喜びの歌」「かっこう」 「主人は冷たい土の中に」他	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
○アルトリコーダーを楽しもう 「オーラリー」他	[知] 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	[思] 音色、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
○箏曲の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう。 「六段の調」 「さくらさくら」	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
◯日本の音階を使って旋律をつくろう。 「My Melody」	[知] 音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付け、創作で表している。	[思] 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	[態] 音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。
○日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、魅力を味わおう。 「ソーラン節」他 「オルティンドー」他	[知] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	[思] 音色、リズム、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	[態] 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
○心を込めた合唱 「3送会・卒業式の合唱」 「君が代」「校歌」 ○１年間のまとめ	[知] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 [技] 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	[思] 音色、速度、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	[態] 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。

【美術科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

自然の造形や美術品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性の美しさと調和、美術の働きなどを考えて、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、見方や考え方を広げたりできるようにする。楽しく美術の活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	・定期テスト ・毎学期の制作活動（技能を生かした作品になっている） ・練習作品（技能確認作品） ・毎学期の作品、クロッキー
思考・判断・表現	・アイデアスケッチ（自分なりの工夫やアイデアを考えている） ・プリント ・作品・作品カード（作品への思いが伝えられている） ・授業中の制作活動 ・毎学期の作品、クロッキー
主体的に学習に取り組む態度	・授業態度、理解度（説明を理解して制作している） ・作品提出物 ・提出カード ・授業記録、振り返りカード ・毎学期の作品、クロッキー

3　学習の計画と学習目標

題材 内容/項目/事項	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
オリエンテーション			美術の授業への関心を持ち、前向きに取り組む気持ちをもつ。
クロッキー（短時間素描）	知　顔の角度や、しぐさ、造形的な特徴を基に身近な人の印象やイメージを捉えることを理解している。 技　用具の活かし方を身に付け、意図に応じて工夫している。	発　身近な人を見つめ感じ取った特徴などを基に主題を生み出す。 鑑　造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げている。	態表　クロッキーを楽しみ、身近な人の特徴を基に構想したり、表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑　クロッキーで描き出す喜びを味わい見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
陶芸（パブリックアート） 「学校に息づく土の造形」	知　焼き物の材料、形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に温かさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技　焼き物の加工の方法を身に付け、意図に応じて工夫し制作の順序を考え見通しをもって表している。	発　焼き物の特性や美しさを基に、設置する場面や見る人の気持ちなどから主題を生み出している。 鑑　焼き物の良さや設置場所との調和のとれた美しさを感じ取り、表現の意図を工夫して考え、見方や感じ方を広げている。	態表　陶芸の創造活動を楽しみながら構想し、見通しをもって学習活動に取り組もうとしている。 態鑑　洗練された美しさを感じ取り作者の意図や工夫について考え、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
風景画（水彩画） 「なぜか気になる身近な風景」	知　形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や全体の様子などを基に、良さや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技　水彩具の生かし方を身に付け、意図に応じて工夫して表している。	発　身近な場所を見つめ感じ取った特徴などを基に主題を生み出し、構図を考え、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑　造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げている。	態表　風景画を楽しみ、身近な場所の特徴や美しさを基に構想したり、構成を工夫し、表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑　風景画で描き出す喜びを味わい見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

色の世界	知　形や色彩から感情にもたらす効果や、技法などを理解している。 技　アクリル絵の具の特性を理解している	発　感情やイメージなどの心の中の世界を基に、色彩を組み立て、心豊かに表現する構想を練っている。	態表　美術の創造活動の喜びを味わい主体的に構想を練ったり、創造的に表現しようとする学習活動に取り組もうとしている。
抽象絵画	知　形や色彩から感情にもたらす効果や、組み合わせを全体のイメージで捉えることを理解している。 技　意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表現している。		態鑑　見方や感じ方を深める鑑賞活動に取り組もうとしている。
文字のデザイン	知　書体の形が感情にもたらす効果や、伝達する力を理解している。 技　書体を理解し正しく美しく表現している		
色面構成 「漢字がもつイメージ」	知　漢字の持つ意味や用途から感じる色彩や造形的な特徴などを基に、形や色彩の組み合わせを全体のイメージで捉えることを理解している。 技　アクリル絵の具の特性を生かし意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表現している。	発　感情やイメージなどの心の中の世界を基に、主題を生み出し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑　文字の意味と分かりやすさとの調和のとれた美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図の工夫などを考え、見方や感じ方を広げている。	態表　美術の創造活動の喜びを味わい主体的に構想を練ったり、創造的に表現しようとする学習活動に取り組もうとしている。 態鑑　作者の心情や表現の意図と工夫について考えるなどの見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている
鉛筆デッサン 「見つめるとみえてくる」	知　形が感情にもたらす効果や、造形的な特徴や全体の様子などを基に、良さや美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 技　鉛筆の生かし方を身に付け、意図に応じて工夫して表している。	発　身近なものを見つめ感じ取った特徴などを基に主題を生み出し、構図を考え、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑　造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げている。	態表　デッサンを楽しみ、身近な物の特徴や美しさを基に構想したり、構成を工夫し、表現の学習活動に取り組もうとしている。 態鑑　デッサンで描き出す喜びを味わい見方や感じ方を広げる鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
鑑賞 「屏風、美のしかけ」 まとめ	知　構図、余白、折りによる空間や奥行きの表現が感情にもたらす効果や、造形的な特徴を基に良さや美しさを理解している。	鑑　造形的な良さや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げている。	態鑑　余白や折りの作者の工夫を考え、美術文化についての考え方や見方を広げる鑑賞活動に取り組もうとしている。

【保健体育科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	• 定期テスト • 授業における活動内容（発言や動き等） • 学習カード等の記述内容 • スキルチェック • ゲームや記録、発表等における技能評価
思考・判断・表現	• 授業における活動内容（発言や動き等） • 学習カード等の記述内容
主体的に学習に取り組む態度	• 「公正」、「協力」、「責任」、「共生」、「参画」、「健康安全」の５項目についての評価 • 授業における活動内容（粘り強く取り組む姿や、工夫して学ぶ姿）

3　学習の計画と学習目標

単元（題材） 内容、項目、事項	知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体つくり運動 （体ほぐしの運動） （体の動きを高める運動）	○知識 ・体つくり運動の意義と行い方，体の動きを高める方法などについて理解している。 〈評価方法〉 観察、テスト	○技能 ・体ほぐしの運動では，手軽な運動を行い，心と体との関係や心身の状態に気付き，仲間と積極的に関わり合うこと。 ・体の動きを高める運動では，ねらいに応じて，体の柔らかさ，巧みな動き，力強い動き，動きを持続する能力を高めるための運動を行うとともに，それらを組み合わせること。 〈評価方法〉 観察	・自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、テスト	・体つくり運動に積極的に取り組むとともに，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとすること，話合いに参加しようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、自己・他者評価
器械運動 （跳び箱運動）	○知識 ・器械運動の特性や成り立ち，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 〈評価方法〉 観察、テスト	○技能 ・基本的な技を滑らかに行うこと，条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを組み合わせることができる。 〈評価方法〉 観察、スキルテスト	・技などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、テスト	・器械運動に積極的に取り組むとともに，よい演技を認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、自己・他者評価

陸上競技 （走幅跳び） （長距離走）	○知識 ・陸上競技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 〈評価方法〉 観察、テスト	○技能 ・長距離走では，ペースを守って走ることができる。 ・走り幅跳びでは，スピードに乗った助走から素早く踏み切って跳ぶこと，走り高跳びでは，リズミカルな助走から力強く踏み切って大きな動作で跳ぶことができる。 〈評価方法〉 観察、記録	・動きなどの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、テスト	・陸上競技に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、自己・他者評価
水泳 （クロール） （平泳ぎ）	○知識 ・水泳の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 〈評価方法〉 観察、テスト	○技能 ・クロールでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり速く泳ぐことができる。 ・平泳ぎでは，手と足の動き，呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。 〈評価方法〉 観察、記録	・泳法などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、テスト	・水泳に積極的に取り組むとともに，勝敗などを認め，ルールやマナーを守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配ったりしている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、自己・他者評価
球技 （ソフトボール） （バレーボール） （タグラグビー） （サッカー） （バスケットボール）	○知識 ・球技の特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 〈評価方法〉 観察、テスト	○技能 ・ゴール型では，ボール操作と空間に走り込むなどの動きによってゴール前での攻防をすることができる。 ・ネット型では，ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ベースボール型では，基本的なバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と定位置での守備などによって攻防をすることができる。 〈評価方法〉 観察、スキルテスト	・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、テスト	・球技に積極的に取り組むとともに，フェアなプレイを守ろうとすること，作戦などについての話合いに参加しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとすること，仲間の学習を援助しようとすることなどをしたり，健康・安全に気を配ったりしている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、自己・他者評価
武道 （剣道）	○知識 ・武道の特性や成り立ち，伝統的な考え方，技の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力などについて理解している。 〈評価方法〉	○技能 ・剣道では，相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて，打ったり受けたりするなどの簡易な攻防をすることができる。 〈評価方法〉 観察、スキルテスト	・攻防などの自己の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、テスト	・武道に積極的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を守ろうとすること，分担した役割を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとすることなどをしたり，禁じ技を

	観察、テスト			用いないなど健康・安全に気を配ったりしている。 〈評価方法〉 観察、学習カード、自己・他者評価
調和のとれた生活	①健康は，主体と環境を良好な状態に保つことにより成り立っていること，健康が阻害された状態の一つが疾病であること，また，疾病は，主体の要因と環境の要因とが相互に関わりながら発生することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ②運動には，身体の各器官の機能を刺激し，その発達を促すとともに，気分転換が図られるなど，精神的にもよい効果があること，また，健康を保持増進するためには，年齢や生活環境等に応じて運動を続けることが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ③食事には，健康な身体をつくるとともに，運動などによって消費されたエネルギーを補給する役割があること，また，健康を保持増進するためには，毎日適切な時間に食事をすること，年齢や運動量等に応じて栄養素のバランスや食事の量などに配慮することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ④休養・睡眠は，心身の疲労を回復するために必要であること，健康を保持増進するためには，年齢や生活環境等に応じて休養・睡眠をとる必要があること，また，心身の健康は生活習慣と深く関わっており，健康を保持増進するためには，年齢，生活環境等に応じた適切な運動，食事，休養・睡眠の調和のとれた生活を続けることが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 〈評価方法〉 保体資料ノート、テスト、発表		①健康の成り立ちと疾病の発生要因，生活習慣と健康における事柄や情報などについて，保健に関わる原則や概念を基に整理したり，個人生活と関連付けたりして，自他の課題を発見し，課題解決に取り組んでいる。 ②健康の成り立ちと疾病の発生要因，生活習慣と健康について，習得した知識を自他の生活と比較したり，活用したりして，健康の保持増進をする方法を考え，課題の解決方法とそれを選択した理由などを，他者と話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて伝え合っている。 〈評価方法〉 観察、保体資料ノート、テスト	①健康の成り立ちと疾病の発生要因，生活習慣と健康について，課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。 〈評価方法〉 観察、保体資料ノート、発表
心身の発達と心の健康	①身体の発育・発達には，骨や筋肉，肺や心臓などの器官が急速に発育し，その機能が発達する時期があること，また，その時期や程度には，人によって違いがあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ②思春期には，呼吸器と循環器の働きが急速に発達すること，この時期に持久的な運動を継続することで発育・発達が促進されることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ③思春期には，下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し，女子では月経が見られることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ④生殖機能の発達とともに，男子では射精が起こること，また，受精が起こる仕組みについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑤身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し，個人差はあるものの，性衝動が生じたり，異性への関心などが高まったりすることなどから，異性の尊重，性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることについて，理解したことを言ったり		①心身の機能の発達と心の健康における事柄や情報などについて，保健に関わる原則や概念を基に整理したり，個人生活と関連付けたりして，自他の課題を発見している。 ②心身の機能の発達と心の健康について，習得した知識を自他の生活に適用したり，課題解決に役立てたりして，健康の保持増進をする方法を考えている。 ③欲求やストレスとその対処について，習得した知識や技能を自他の生活と比較したり，活用したりし	①心身の機能の発達と心の健康に関心を持ち，課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。 〈評価方法〉 観察

	書いたりしている。 ⑥心は，知的機能，情意機能などの精神機能の総体として捉えられ，それらは生活経験や学習などの影響を受けながら，脳の発達とともに発達することについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑦社会性については，家族関係や友人関係などへの依存の状態は，生活経験や学習などの影響を受けながら変化し，自立しようとする傾向が強くなることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑧自己形成については，思春期になると，自己を客観的に見つめたり，他人の立場や考え方を理解できるようになったりするとともに，物の考え方や興味・関心を広げ，次第に自己を認識し自分なりの価値観をもてるようになるなど自己の形成がなされることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑨欲求には，生理的な欲求と心理的，社会的な欲求があること，また，精神的な安定を図るには，日常生活に充実感をもてたり，欲求の実現に向けて取り組んだり，欲求が満たされないときに自分や周囲の状況からよりよい方法を見付けたりすることなどがあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑩精神と身体には，密接な関係があり，互いに様々な影響を与え合っていること，また，心の健康を保つには，適切な生活習慣を身に付けるとともに，ストレスに適切に対処する必要があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑪ストレスへの対処にはストレスの原因となる事柄に対処すること，ストレスの原因についての受け止め方を見直すこと，友達や家族，教員，医師などの専門家などに話を聞いてもらったり，相談したりすること，コミュニケーションの方法を身に付けること，規則正しい生活をすることなどいろいろな方法があり，それらの中からストレスの原因，自分や周囲の状況に応じた対処の仕方を選ぶことが大切であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ⑫ストレスによる心身の負担を軽くするリラクセーションの様々な方法について，理解したことを言ったり書いたりしているとともに，それらの方法ができる。 〈評価方法〉 観察、発表、テスト	て，健康の保持増進をする方法やストレスへの適切な対処の方法を選択している。 ④心身の機能の発達と心の健康について，課題の解決方法とそれを選択した理由などを，他者と話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて伝え合っている。 〈評価方法〉 観察、ワークシート、テスト	
運動やスポーツの多様性	①運動やスポーツは，体を動かしたり健康を維持したりするなどの必要性や，競い合うことや課題を達成することなどの楽しさから生みだされ発展してきたことを理解している。 ②運動やスポーツには，行うこと，見ること，支えることおよび知ることなどの多様な関わり方があることを理解している。 ③世代や機会に応じて，生涯にわたって運動やスポーツを楽しむためには，自己に適した多様な楽しみ方を見付けたり，工夫したり	①運動やスポーツの必要性と楽しさについて，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えている。 ②運動やスポーツへの多様	運動やスポーツの必要性と楽しさについての学習に積極的に取り組もうとしている。 運動やスポーツへの多様な関わり方についての学習に積極的に取り組もうとしている。 運動やスポーツの多様な楽し

	することが大切であることを理解している。 〈評価方法〉 観察、発表、テスト	な関わり方について，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えている。 ③運動やスポーツの多様な楽しみ方について，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えている。 〈評価方法〉 観察、ワークシート、テスト	み方についての学習に積極的に取り組もうとしている。 〈評価方法〉 観察、ワークシート

【技術科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ,ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して,技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)生活や社会で利用されている材料,加工,生物育成,エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに,それらに係る技能を身に付け,技術と生活や社会,環境との関わりについて理解を深める。

(2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し,解決策を構想し,製作図等に表現し,試作等を通じて具体化し,実践を評価・改善するなど,課題を解決する力を養う。

(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて,適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	• 定期テスト • 授業記録 • レポート
思考・判断・表現	• 作品 • レポート
主体的に学習に取り組む態度	• 授業記録 • レポート

3　学習の計画と学習目標

月	単元（題材）	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	○　技術分野の学習内容、進め方の見通し			3 学年間の技術分野の学習に見通しを持ち，主体的に学習に取り組もうとしている。
生活や社会を支える材料と加工技術　【A(1)ｱ,ｲA(2)ｲ】				
5 6 7	○　材料と加工の技術についての原理・法則と仕組み	身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。 木材，金属，プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。	材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り，「技術の見方・考え方」に気付くことができる。	主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。
生活や技術を支える材料と加工技術についての問題点と加工技術　【A(2)ｱ,ｲA(3)ｱ,ｲ】				

9 10 11 12 1	○　材料と加工技術による問題解決 木工品の製作　木工製品	身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して，構造と部材を丈夫にする方法について理解している。 目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。 工具や機器を適切に選択し，安全に配慮しながら，簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。 製作に必要な図の描き方を理解している。 製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。 安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。 自らの問題解決を振り返り，よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。	「技術の見方・考え方」を働かせて，問題を発見し，自分なりの課題を設定する力を身に付けている。 材料の選択や成形の方法などを構想し，設計を具体化する力を身に付けている。 構想に基づいて，製作の計画を立てることができる力を身に付けている。 製作の過程や問題解決の結果を評価し，改善及び修正する力を身に付けている。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，材料と加工の技術を評価し，適切な解決策の選択について考えている。	自分なりの新しい考え方や捉え方によって，知的財産を創造するとともに，他者のアイディアを尊重し，それらを保護・活用しようとしている。 他者と協働して，粘り強く取り組もうとしている。
	○　社会の発展と材料と加工の技術	材料と加工の技術の概念について理解している。 よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。	材料と加工の技術の最適化について考えている。	
	情報についての基礎的・基本的な知識・技能　【D(1)ｱ､ｲ、D (2) ｱ】			
2 3	○　情報の技術の原理・法則と仕組み	情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。 情報のデジタル化の仕組み，デジタル化の方法とデータ量の関係について理解している。 情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。	情報の技術に込められた工夫を読み取り，「技術の見方・考え方」に気付くことができる。	主体的に情報の技術について考えようとしている。 情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けようとしている。

【家庭科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	• 定期テスト • 製作物
思考・判断・表現	• ワークシート • レポート
主体的に学習に取り組む態度	• ワークシート • レポート • 製作記録と評価 • 実習の計画と評価

3　学習の計画と学習目標

月	単元（題材）	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭生活　【A（1）ア】				
4	家族と生きる、地域と生きる	自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。 家族・家庭の基本的な機能について理解している。	家族とのかかわりについて問題を見いだして課題を設定している。	家族とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組み、実践しようとしている。
衣食住の生活　【衣生活】【B（5）ア・イ】				
5 6	布を用いた製作 (はし袋の製作)	製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫している。	安全で能率よく、布を用いた物の製作を実践しようとしている。
衣食住の生活　【食生活】【B（1）ア(ア)(イ)・イ、（2）ア(ア)(イ)・イ、（3）ア(ア)(イ)(ウ)(エ)・イ】				
7 9	食事の役割と栄養	生活の中で食事が果たす役割について理解している。 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康に良い食習慣について理解している。	健康に良い食習慣について考え、工夫している。	自分の食習慣について、課題の解決に主体的に取り組み、実践しようとしている。
10 11 12	中学生に必要な栄養を満たす食事	栄養素の種類と働きについて理解している。 中学生の１日に必要な食品の種類と概量が分かり、１日分の献立作成の方法について理解する。	中学生の１日分の献立について考え、工夫している。	中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。

1 2	日常食の調理	用途に応じた食品の選択について理解し、適切にできる。 食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解し、適切にできる。 材料に適した加熱調理の仕方について理解し、基礎的な日常食の調理が適切にできる。	日常の１食分の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、工夫している。	日常の１食分の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
3	地域の食文化	地域の食文化について理解し、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	和食の調理について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	

【英語科】学習案内（第１学年）

1　教科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。

2　各評価材料

観点	評価材料
知識・技能	• 授業中の言語活動・ワークシート・パフォーマンステストにおいて学んだ言語材料を用いて自分の考えや気持ち等を正しく理解・表現できる。(L,S,R,W) • 定期テスト（L， R，W）の点数 • 毎単元で実施する小テスト（単語テスト等）の点数
思考・判断・表現	• 授業中の言語活動・ワークシート・パフォーマンステストにおいて学んだ言語材料を用いて自分の考えや気持ちを適切に表現している。(L,S,R,W) • 定期テスト（L， R，W）の点数 • 毎単元で実施する小テスト（単語テスト等）の点数
主体的に学習に取り組む態度	• 授業中の言語活動・ワークシート・パフォーマンステストにおいて学んだ言語材料を用いて自分の考えや気持ちを表現しようとしている。(L,S,R,W) • 自己評価カードの記述内容から、①自分の課題をつかみ、改善ができている。②言語活動において、実際に態度となって表れている。

3　学習の計画と学習目標

3学期制	月	配当時数	単元名	言語材料	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
１学期中間	４月	６	Get Ready 1~6	1~4：小学校で学んだ表現 (like／can／want to ～／When, Where の疑問文など)	【知識】 ・小学校で学んだ表現の意味や働きを理解している。 【技能】 ・小学校で学んだ表現の意味や働きの理解をもとに、好きなものやできることなどについて、聞き取ったり伝え合ったりする技能を身に付けている。 ・小学校で学んだ表現の意味や働きの理解をもとに、クラブの紹介文の概要	・自分について相手にわかってもらえるように、簡単な語句や文などを用いて、好きなものやできることなどについて伝えたり、質問に答えたりしている。 ・自分について相手にわかってもらえるように、自分の名前や入りたいクラブ活動などについて、簡単な語句や文などを用いて書いている。	・自分について相手にわかってもらえるように、簡単な語句や文などを用いて、好きなものやできることなどについて伝えたり、質問に答えたりしようとしている。 ・自分について相手にわかってもらえるように、自分の名前や入りたいクラブ活動などについて、簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。

					を読み取る技能を身に付けている。		
				5：アルファベットの文字と音、つづり字と発音	【知識】 ・アルファベットの大文字・小文字、つづり字と発音の関係について理解している。 【技能】 ・アルファベットの大文字・小文字、つづり字と発音の関係の理解をもとに、単語を正確に聞いたり書いたりしている。		
				6：英語の語順	【知識】 ・基本的な英語の語順を理解している。 【技能】 ・基本的な英語の語順の理解をもとに、絵に合う英文を選択したり、書いたりする技術を身に付けている。	・自分について相手にわかってもらえるように、自分のことについて簡単な語句や文などを用いて書いている。	・自分について相手にわかってもらえるように、自分のことについて簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。
5月	9	PROGRAM 1 友だちを作ろう	be 動詞（肯定・否定・疑問） where の疑問文		【知識】 ・be 動詞や where の意味や働きを理解している。 【技能】 ・be 動詞や where の意味や働きの理解をもとに、自分や相手のことについて伝え合う技能を身に付けている。	・自分について相手にわかってもらえるように、自分のことについて書いたり、質問したりしている。	・自分について相手にわかってもらえるように、自分のことについて書いたり、質問したりしようとしている。
5月	1	Step 1 発表上手になろう	発表をする際のポイント		【知識】 ・伝えたい内容を上手に発表する技能を理解している。 【技能】 ・伝えたい内容を上手に発表する技能を身に付けている。		

	5月	9	PROGRAM 2 1-B の生徒たち	一般動詞（肯定・否定・疑問） 複数形 When の疑問文	【知識】 ・一般動詞や複数形、when の意味や働きを理解している。 【技能】 ・一般動詞や複数形、when の意味や働きの理解をもとに、自分や相手がすることについて伝え合う技能を身に付けている。	・教室内の様子を相手にわかってもらえるように、質問したり、答えたりしている。	・教室内の様子を相手にわかってもらえるように、質問したり、答えたりしようとしている。
	6月	1	アクションコーナー	命令文	【知識】 ・命令文の表現の特徴や決まりを理解している。 【技能】 命令文の意味や働きの理解をもとに、しなければいけらないことやしてはいけないことを聞き取ったり伝え合ったりする技能を身に付けている。		
1学期期末	6月	9	PROGRAM 3 タレントショーを開こう	can（肯定・否定・疑問） What の疑問文	【知識】 ・can や what の意味や働きを理解している。 【技能】 ・can や what の意味や働きの理解をもとに、できることやできないことについて伝え合う技能を身に付けている。	・「夢のロボット」ができることについて相手にわかってもらうために、具体的な説明とともに伝えている。 ・友だちが考えた「夢のロボット」ができることについて書いている。	・「夢のロボット」ができることについて相手にわかってもらうために、具体的な説明とともに伝えようとしている。 ・友だちが考えた「夢のロボット」ができることについて書こうとしている。
	7月	1	Step 2 考えを整理し、表現しよう	マッピングの使用	【知識】 ・マッピングの使い方を理解している。 【技能】 ・マッピングの使い方の理解をもとに、内容を整理して話す技能を身に付けている。		

	7月	6	Our Project 1 あなたの知らない私	（これまでの復習）	【知識】 ・be 動詞や一般動詞などの既習の言語材料の意味や働きを理解している。 【技能】 ・be 動詞や一般動詞などの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「あなたの知らない私」というテーマのスピーチの概要を聞き取ったり、読み取ったりする技能を身に付けている。	・相手がまだ知らない自分の意外な一面を知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて自己紹介のスピーチをしたり、自己紹介の英文を書いたりしている。	・相手がまだ知らない自分の意外な一面を知ってもらうために、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて自己紹介のスピーチをしたり、自己紹介の英文を書いたりしようとしている。
	7月	3	Power-Up 1 ハンバーガーショップへ行こう	Can I have ~? How much ~?	【知識】 ・飲食店での注文で使う表現を理解している。 【技能】 ・飲食店での注文で使う表現の理解をもとに、客と店員の会話の内容を聞き取る技能を身に付けている。	・飲食店で注文するために、簡単な語句や文などを用いて、自分が食べたいものやその金額などを伝え合っている。	・飲食店で注文するために、簡単な語句や文などを用いて、自分が食べたいものやその金額などを伝え合おうとしている。
	7月	9	PROGRAM 4 Let's Enjoy Japanese Food.	This [That] is ～. He [She] is ～. Who の疑問文	【知識】 ・This is ～.や He is ～.、who の意味や働きを理解している。 【技能】 ・This is ～.や He is ～.、who の意味や働きの理解をもとに、自分と相手以外の人やものについて伝え合う技能を身に付けている。	・相手が回答しやすいように食べ物の色などの特徴をわかりやすく説明し、クイズとして出題している。 ・食べ物についてのクイズを作るために、簡単な語句や文などを用いて書いている。	・相手が回答しやすいように食べ物の色などの特徴をわかりやすく説明し、クイズとして出題しようとしている。 ・食べ物についてのクイズを作るために、簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。
2学期中間	9月	9	PROGRAM 5 Pajama Day	三人称・単数・現在	【知識】 ・三人称・単数・現在の意味や働きを理解している。 【技能】 ・三人称・単数・現在の意味や働きの理解をもとに、自分と相手以外の人などについて伝え合う技能を身に付けている。	・だれを紹介しているか相手にわかってもらえるように、自分の身近な人などについて具体的な説明とともに伝えている。	・だれを紹介しているか相手にわかってもらえるように、自分の身近な人などについて具体的な説明とともに伝えようとしている。

	9月	1	Power-Up 2 持ち主をたずねよう	Which の疑問文 Whose の疑問文	【知識】 ・which や whose の意味や働きを理解している。 【技能】 ・which や whose の意味や働きの理解をもとに、登場人物の持ち物についてたずねたり答えたりする技能を身に付けている。	・だれの持ち物かを知るために、簡単な語句や文などを用いて、自分や相手の持ち物について伝え合っている。	・だれの持ち物かを知るために、簡単な語句や文などを用いて、自分や相手の持ち物について伝え合おうとしている。
	10月	9	PROGRAM 6 The Way to School	him, her Why の疑問文, Because ~.	【知識】 ・him や her、why の疑問文、Because ~.の意味や働きを理解している。 【技能】 ・him や her、why の疑問文、Because ~.の意味や働きの理解をもとに、人やものについて伝えたり、理由をたずねたりする技能を身に付けている。	・自分の考えを相手にわかってもらうために、好きな映画やアニメの登場人物について、具体的な理由とともに伝えている。 ・好きな映画やアニメの登場人物を紹介するために、簡単な語句や文などを用いて書いている。	・自分の考えを相手にわかってもらうために、好きな映画やアニメの登場人物について、具体的な理由とともに伝えようとしている。 ・好きな映画やアニメの登場人物を紹介するために、簡単な語句や文などを用いて書こうとしている。
2学期中間（続き）	10月	1	Step 3 話の組み立て方を考えよう	スピーチの構成	【知識】 ・相手にわかりやすい話の組み立て方について理解している。 【技能】 ・相手にわかりやすい話の組み立て方の理解をもとに、論理立ててスピーチ原稿を書く技能を身に付けている。		
2学期期末	11月	9	PROGRAM 7 Research on Australia	There is [are] ～. How の疑問文	【知識】 ・There is [are] ～.や how の疑問文の意味や働きを理解している。 【技能】 ・There is [are] ～.や how の疑問文の意味や働きの理解をもとに、地域にあるものや交通手段について伝え合う技能を身に付けている。	・飼育したい動物についての自分の考えや気持ちを相手にわかってもらうために、自分が考えた動物園の提案を具体的な理由とともに伝えている。	・飼育したい動物についての自分の考えや気持ちを相手にわかってもらうために、自分が考えた動物園の提案を具体的な理由とともに伝えようとしている。

11月	1	疑問詞のまとめ	疑問詞を使った疑問文	【知識】 ・さまざまな疑問詞の使い方を理解している。 【技能】 ・さまざまな疑問詞の意味や働きの理解をもとに、質問したり答えたりする技能を身に付けている。		
11月	3	Power-Up 3 学校案内をしよう	Where is ～? Turn right, and ～. など	【知識】 ・道案内で使う表現を理解している。 【技能】 ・道案内で使う表現の理解をもとに、行きたい場所や行き方を伝え合う技能を身に付けている。	・来校者に学校内を案内をするために、簡単な語句や文などを用いて、相手が行きたい場所や行き方などを伝え合っている。	・来校者に学校内を案内をするために、簡単な語句や文などを用いて、相手が行きたい場所や行き方などを伝え合おうとしている。
11月	1	Step 4 聞き上手になろう	話を聞く際のポイント	【知識】 ・発表を聞くときに気をつけるべきポイントを理解している。 【技能】 ・発表を聞くときに気をつけるべきポイントを理解し、発表者が気持ちよく話せる聞き方の技能を身に付けている。		
12月	6	Our Project 2 この人を知っていますか	（これまでの復習）	【知識】 ・三人称・単数・現在やhim, herなどの既習の言語材料の意味や働きを理解している。 【技能】 ・三人称・単数・現在やhim、herなどの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに、「この人を知っていますか」というスピーチのテーマを聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。	・自分が紹介したい人物について相手にわかってもらえるように、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて伝えたり、書いたりしている。	・自分が紹介したい人物について相手にわかってもらえるように、自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文などを用いて伝えたり、書いたりしようとしている。

	12月	9	PROGRAM 8 Happy New Year!	現在進行形	【知識】 ・現在進行形の意味や働きを理解している。 【技能】 ・現在進行形の意味や働きの理解をもとに、今していることについて伝え合う技能を身に付けている。	・ライブ配信をしようとしている状況について相手にわかってもらうために、今していることについて説明したり、答えたりしている。	・ライブ配信をしようとしている状況について相手にわかってもらうために、今していることについて説明したり、答えたりしようとしている。
2学期期末（続き）	12月	3	Power-Up 4 ショッピングを しよう	Can I help you? Do you have the same one in ~? など	【知識】 ・服屋などの店で買い物をするときに使う表現を理解している。 【技能】 ・服屋などの店で買い物をするときに使う表現の理解をもとに、おすすめの商品の提案を聞き取ったり、色違いの商品を求める技能を身に付けている。	・店で欲しい商品を買うために、自分が欲しいものやおすすめの商品、値段などについて聞き取ったり、伝え合ったりしている。	・店で欲しい商品を買うために、自分が欲しいものやおすすめの商品、値段などについて聞き取ったり、伝え合ったりしようとしている。
学年末	1月	9	PROGRAM 9 A Trip to Finland	一般動詞の過去形	【知識】 ・一般動詞の過去形の意味や働きを理解している。 【技能】 ・一般動詞の過去形の意味や働きの理解をもとに、過去にしたことについて伝え合う技能を身に付けている。	・自分が週末にしたことを相手にわかってもらうために、過去にしたことについて書いたり、相手のことを知るために相手が書いた文を読んだりしている。	・自分が週末にしたことを相手にわかってもらうために、過去にしたことについて書いたり、相手のことを知るために相手が書いた文を読んだりしようとしている。
	1月	1	Step 5 発表用メモを 活用しよう	発表用メモの作成ポイント	【知識】 ・スムーズに発表するためのメモの作り方を理解している。 【技能】 ・スムーズに発表するためのメモの作り方の理解をもとに、話したい内容を簡潔にメモにまとめる技能を身に付けている。		

2月	1	Power-Up 5 インタビューを聞こう	一般動詞の過去形（復習）	【知識】 ・インタビューで使う表現を理解している。 【技能】 ・インタビューで使う表現の理解をもとに、その人物がしたことなどの情報を聞き取る技能を身に付けている。	・インタビューの相手について理解するために、誕生日や日本での経験をたずねたり、聞き取ったりしている。	・インタビューの相手について理解するために、誕生日や日本での経験をたずねたり、聞き取ったりしようとしている。
2月	9	PROGRAM 10 Grandma Baba's Warming Ideas!	be 動詞の過去形 過去進行形	【知識】 ・be 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きを理解している。 【技能】 ・be 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きの理解をもとに、過去の様子などについて伝え合う技能を身に付けている。	・ばばばあちゃんの物語の内容をほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、紙芝居を演じている。	・ばばばあちゃんの物語の内容をほかの人に伝えるために、簡単な語句や文などを用いて、紙芝居を演じようとしている。
2月	3	Step 6 絵や写真を英語で表現しよう	There is [are] ～. 現在進行形（復習）	【知識】 ・There is [are] ～.や現在進行形などの意味や働きを理解している。 【技能】 ・There is [are] ~.や現在進行形などの意味や働きの理解をもとに、ある絵や写真についての説明を伝え合う技能を身に付けている。		
3月	8	Our Project 3 私が選んだ１枚	（これまでの復習）	【知識】 ・過去形などの既習の言語材料の意味や働きを理解している。 【技能】 ・過去形などの既習の言語材料の意味や働きの理解をもとに「私が選んだ１枚」というテーマのスピーチを聞き取ったり読み取ったりする技能を身に付けている。	・思い出の出来事や自分の好きなものなどについて相手に伝えるために、考えや気持ちなどを整理し、写真や絵を示しながらスピーチをしたり、英文を書いたりしている。	・思い出の出来事や自分の好きなものなどについて相手に伝えるために、考えや気持ちなどを整理し、写真や絵を示しながらスピーチをしたり、英文を書こうとしている。

	3月	3	Power-Up 6 絵はがきを書こう	手紙で使う表現 （Dear ～ / Your friend, ）	【知識】 ・手紙で使う表現を理解している。 【技能】 ・手紙で使う表現の理解をもとに、絵はがきの内容を読み取ったり書いたりする技能を身に付けている。		

第１学年　上尾市立太平中学校　道徳　学習案内

…重点項目

月	番号	教材名	学習指導要領との関連	主題名
4	1	掃除の神様が教えてくれたこと	B13　勤労	働く喜びと充実した生き方の追求
	2	仮入部	B8　友情、信頼	幸せを願う友情
5	3	挨拶しますか、しませんか	B7　礼儀	場に応じた挨拶
	4	うわさで決めるの？	C11　公正、公平、社会正義	公正に考えるとは
	5	あるピエロの物語	B8　友情、信頼	信頼と敬愛に支えられた友情
	6	宇宙で過ごすために　野口聡一	A2　節度、節制	心身の調和を求めて
6	7	黒い弁当	C14　家族愛、家庭生活の充実	かけがえのない家族
	8	バスと赤ちゃん	B6　思いやり、感謝	相手の立場に立った支え合い
	9	裏庭での出来事	A1　自主、自律、自由と責任	誠実な生き方
	10	岩泉を守る	C16　郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土を愛する
7	11	本の世界よ、みんなに届け　村岡花子	A4　希望と勇気、克己と強い意志	理想を求めて
	28	イチローの軌跡	A3　向上心、個性の伸長	夢の実現
9	13	真の国際人　嘉納治五郎	C18　国際理解、国際貢献	自らの役割を果たす日本人
	14	ネット将棋	A1　自主、自律、自由と責任	自分の行動に責任を
	15	私も同じだよ	C10　遵法精神、公徳心	権利ときまり
	16	トキのいる里をもう一度	D20　自然愛護	自然との共生
10	17	日曜日の朝に	A2　節度、節制	心の弱さを乗り越える
	18	金色の稲穂	B6　思いやり、感謝	人の善意に感謝する心
	19	妹が生まれて	D19　生命の尊さ	命を育む
	20	町内会デビュー	C12　社会参画、公共の精神	望ましい地域社会
11	21	らしさって何だろう	B9　相互理解、寛容	相手を受けとめる
	22	ネパールのビール	D22　よりよく生きる喜び	誠意ある行為の美しさ
	23	公平とはなんだろう	C11　公正、公平、社会正義	誰にとっても公平な社会
	24	自然の懐に抱かれて	D21　感動、畏敬の念	自然の美しさに感動する心
12	25	伝統を伝説に	C15　よりよい学校生活、集団生活の充実	仲間と共に
	26	★男らしさ女らしさ、自分らしさ	A3　向上心、個性の伸長	自分らしく生きる
	27	日本の心と技	C17　我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	世界の中での日本文化のすばらしさ
1	12	いっぱい生きる　全盲の中学校教師	D22　よりよく生きる喜び	希望をもち、前向きに生きる
	29	認められたグラブ	A4　希望と勇気、克己と強い意志	続ける努力
	30	捨て犬・未来	D19　生命の尊さ	尊い命
2	31	傘の下	C10　遵法精神、公徳心	公徳を大切にする心
	32	ロコ・ソラーレ　メダルへの挑戦	C15　よりよい学校生活、集団生活の充実	役割を果たす
	33	ゲームから広がる可能性	A5　真理の探究、創造	新たな可能性を求めて
3	34	たとえ僕に明日はなくとも	D19　生命の尊さ	輝かせる命
	35	エルトゥールル号の遭難	C18　国際理解、国際貢献	人類の発展に貢献する